

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン

コード番号 6093 URL <http://www.ea-j.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 本間 英明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 漆原 達弥

TEL 03-6703-0500

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	894	—	141	—	134	—	71	—
26年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 71百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	92.66	90.38
26年2月期第3四半期	—	—

(注) 平成27年2月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年2月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
27年2月期第3四半期	1,616	—	1,469	—	90.9	1,865.48	—	
26年2月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 1,469百万円 26年2月期 1百万円

(注) 平成27年2月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年2月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	75.00	75.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年2月期の期末配当予想については未定です。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,377	—	318	—	318	—	193	—	254.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年2月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	787,500 株	26年2月期	747,500 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	— 株	26年2月期	60,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	768,909 株	26年2月期3Q	370,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する説明 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する説明 .....	2
( 3 ) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	6
( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
( 継続企業の前提に関する注記 ) .....	7
( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ) .....	7
( セグメント情報等 ) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日銀の経済・金融政策により緩やかな景気回復基調が期待される中、一方で、消費税増税後の個人消費の低迷・回復の遅れ、円安による輸入原材料価格の上昇により、景気の行き先は依然不透明な状況が続いております。

不動産市場においては、住宅ローン減税やすまい給付金制度等の施策が実施されるものの、住宅市場を中心に消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響が依然として続いており、新設住宅着工戸数が前年比減少傾向で推移しております。

このような状況の中、当社グループにおきましてはクライアントニーズに適合したサービスを提供すると共に、引続き日本版エスクロー事業の構築に注力をし、平成26年9月9日より事業を開始している当社完全子会社である株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託において合理的かつ利便性の高い信託サービスの拡充を図って参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は894,955千円、営業利益は141,942千円、経常利益は134,930千円、四半期純利益は71,247千円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (エスクローサービス事業)

エスクローサービス事業においては、ASPサービスを中心として司法書士を始めとした専門家、金融機関、不動産事業者に対し合理的かつ安全な不動産取引の支援サービスを提供しており、株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託との連携により決済機能を強化すべく信託サービスの拡充に努めております。当第3四半期連結累計期間においては、引続き特定不動産FC加盟店と融資元金融機関との連携による優遇金利適用の提携ローンスキームを推進するとともに新規クライアントへの営業推進を行い業容拡大を図っております。

また、平成26年9月1日より金融機関向けの業務ステータス管理を行うASPサービス「BMA(Business Management Agency)」を提供開始致しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は384,100千円、セグメント利益は309,517千円となりました。

#### (BPO事業)

BPO事業においては、金融機関における住宅ローン融資案件の事務を請負い、クライアント金融機関の業務上の課題を解決するための事務合理化ニーズに応じたサービスを提案しております。また、中期経営計画に基づき、継続的に新規クライアントの獲得に向けた活動を推進する一方、既存クライアントの業務範囲を拡大すべく営業活動に努めつつ、例年受注量が増加傾向にある時期に向けた受託体制の構築を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は510,855千円、セグメント利益は112,931千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は1,616,187千円となりました。

流動資産は1,525,382千円となりました。主な内訳は現金及び預金1,379,155千円、売掛金120,480千円であり、固定資産は、90,805千円となりました。主な内訳は、ソフトウェア仮勘定18,700千円、差入保証金44,065千円であります。

負債の残高は147,120千円となりました。流動負債は139,202千円となりました。主な内訳は、未払金80,715千円、未払消費税等24,960千円であります。固定負債は固定リース債務のみであり、7,917千円であります。

純資産の残高は1,469,067千円となりました。主な内訳は、資本金277,929千円、資本剰余金392,769千円、利益剰余金798,369千円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第 1 四半期連結累計期間において、株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン・トラストを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、当該子会社は平成26年 8 月28日に関東財務局より管理型信託業の登録完了通知を受け、株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン信託に商号変更をしております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,379,155
売掛金	120,480
仕掛品	49
繰延税金資産	2,771
その他	23,009
貸倒引当金	84
流動資産合計	1,525,382
固定資産	
有形固定資産	10,977
無形固定資産	35,090
投資その他の資産	44,738
固定資産合計	90,805
資産合計	1,616,187
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	4,823
リース債務	8,405
未払法人税等	906
賞与引当金	6,227
その他	118,839
流動負債合計	139,202
固定負債	
リース債務	7,917
固定負債合計	7,917
負債合計	147,120
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	277,929
資本剰余金	392,769
利益剰余金	798,369
株主資本合計	1,469,067
純資産合計	1,469,067
負債純資産合計	1,616,187

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 ( 四半期連結損益計算書 )  
 ( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年11月30日)
売上高	894,955
売上原価	451,813
売上総利益	443,141
販売費及び一般管理費	301,199
営業利益	141,942
営業外収益	
受取利息	207
受取家賃	130
助成金収入	1,750
その他	377
営業外収益合計	2,464
営業外費用	
支払利息	97
株式公開費用	8,863
その他	515
営業外費用合計	9,476
経常利益	134,930
特別損失	
減損損失	2,754
特別損失合計	2,754
税金等調整前四半期純利益	132,175
法人税、住民税及び事業税	58,855
法人税等調整額	2,072
法人税等合計	60,927
少数株主損益調整前四半期純利益	71,247
四半期純利益	71,247

( 四半期連結包括利益計算書 )  
( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3 月 1 日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,247
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	-
四半期包括利益	71,247
( 内訳 )	
親会社株主に係る四半期包括利益	71,247
少数株主に係る四半期包括利益	-



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年3月27日を払込期日とする一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行及び自己株式の処分を行い、資本金が24,840千円、資本剰余金が124,680千円増加し、自己株式が49,200千円減少しております。

また、当第3四半期連結累計期間における新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金が各々9,896千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が277,929千円、資本剰余金が392,769千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エスクロー サービス	BPO	計		
売上高					
外部顧客への売上高	384,100	510,855	894,955	-	894,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	384,100	510,855	894,955	-	894,955
セグメント利益	309,517	112,931	422,449	280,507	141,942

(注)1. セグメント利益の調整額 280,507千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社部門で生じた販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産の減損損失2,754千円は、遊休資産に係るものであり、報告セグメントに配分しておりません。